

金沢大学法学類月報

第15号 2015年1月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



連日寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。法学類月報第15号では、名古屋功先生のご紹介、公認サークルの学生による模擬裁判公演のお知らせ、卒業生の疋田哲朗さんからのご寄稿をお送りします。

本年も、金沢大学法学類をよろしくお願ひします。



◆連載◆ 法学類の先生 第13回 名古屋功先生（労働法）

金沢大学着任は1984年(昭和59年)であり、30年が経過しました。数少ない「城内組」であり、何年かすれば確実に姿を消す「絶滅危惧種」(危惧されていない?)の一人です。1989年(平成元年)、先発第一陣として角間に移転するまで金沢城内のキャンパスで過ごし、親しい教員や学生とともに、桜が咲くと花見をしたのを懐かしく思い出します。当時は、良い意味でも悪い意味でも「のんびり」していました。講義に20分遅れてくるような、今だったら「ダメ出し」されそうな先生もおられました。

現在、労使関係法(労働団体系)、雇用関係法(労働保護法)、社会法入門(1年配当科目。今年度で廃止)そして労働法演習などを担当しています。さらに法科大学院の講義も行っています。学生は、労働組合を対象にする労使関係法ではなく、ブラック企業、ブラックバイト、過労死などを取り上げる雇用関係法への関心が高いです。就職すれば即関係する内容なので、事例問題を多く取り入れ、卒業後も役に立つ講義に努めています。

最近、eラーニング、アクティブ・ラーニング、KUGS(HPで調べて下さい)など耳慣れない横文字が多用され、戸惑うことがあります。定年までもう少し頑張りたいと思います。

模擬裁判会 第5回外部公演 「両の手」



公認サークル「金沢大学模擬裁判会」(略称:もぎさい)は、法律や裁判、社会問題について市民の皆様と共に考える機会を提供することを目的として、毎年、オープンキャンパスにおける裁判劇企画の運営のほか、

外部公演を開催しています。いずれも単に裁判劇を上演するだけでなく、劇中の事件に対する判決を学生と来場者の皆様とで検討する「評議」も行っています。このほど下記の要領で、第5回外部公演を開催することとなりました。

タイトル 「両の手 ～語らぬ遺言、遺された者～」
日 時 2月21日(土) 12時30分開場 13時開演
場 所 石川県文教会館(金沢市尾山町10番5号)401・402大会議室

今回は、相続問題をテーマとして、認知症であった父が残した2通の遺言書をめぐり、どちらの遺言書が有効なのかを兄弟が争うという設定です。父は、どんな意図があって2通目の遺言書を書いたのか、そのとき父は遺言を書ける状態にあったのか…。既に亡くなった父に聞くことなどできない。互いの立

場から対立する兄弟の争いを通し、遺言の有効性や家族関係について考える裁判劇となっています。劇の上演後は、遺言が有効となるかについて学生と会場の皆様とで検討する企画も準備しています。お時間のある方はぜひお気軽にご来場ください。入場は無料です。

金沢大学模擬裁判会代表 法学類2年 榊原 潤

「縁と運のために」

私は、“法学類”を1期生として卒業しました。そんな、ほんの数年ばかりの先輩から皆さんへ伝えたいことは一つです。それは、「自分は何をするために今ここにいるのかを常に考える」ということです。ただ漫然と授業に出て単位をとっても、卒業後には何も残りません。

私の場合は、「紛争の事前予防」に携わりたいという思いから、大学時代・大学院時代にかけて様々な取り組みをしました。たとえば、総合教育棟「なんでも相談室」相談員として新入生の履修相談に携わりました。大学での生活は高校までとは全く違うものですから、スムーズな大学生活のお手伝いをするには、問題発生への事前防止に役立っていたと思います。また、金沢法友会のプロジェクトである法教育研究部会の立ちあげは、法教育を通じ、社会における紛争の予防につながると考えます。

このように、紛争の事前予防に携わりたいと考え続けた私は、悩んだ結果、「教育こそ紛争の事前予防に最も大切ではないか」と考え、文部科学省への入省を決意しました。いまの選択がベストかどうかは死ぬまで分かりません。しかし、自分が納得し選んだ道を、ベターだと思うことは可能です。

「目的意識を持って」という格言は手垢のついた言葉かも知れませんが、自分の学生生活や周囲の学友たちの様子を振り返ってみれば、やはり重要なことだと思います。人生は、縁と運です。ただし、縁を掴むのも、運に巡りあうのも、日頃からの準備が必要です。そのために「自分は何をするために今ここにいるのか」を常に考えることを怠らず、毎日を積み重ねてください。

疋田哲朗(2012年3月法学類卒業 中央大学法科大学院修了)



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>) に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。